

ご好評にお応えして、今年も開催！設備導入・更新のチャンスです！

～ 厳選されたおすすめ機器のご紹介 期末大感謝セール ～

# 39 Campaign

サンキューキャンペーン

割引総額  
**392,000円**  
平成27年  
1月15日～3月31日まで

Thank  
You  
Campaign★

premium  
sale★

バンザイでは皆様の日頃のご愛顧に感謝して、1月～3月末日までの期間限定にて「期末大感謝セール・39キャンペーン」を開催します。

本年はご好評のうちに3回目を迎えて対象商品もさらに厳選、割引総額392,000円の「39クーポン」のご利用で、またとないお買い得価格を実現します。

このチャンスをお見逃しなく、設備の導入・更新をご検討くださいますようお願い申し上げます。

**BANZAI** 株式会社 バンザイ <http://www.banzai.co.jp>

本社  
東京都港区芝2-31-19  
TEL 03-3769-6880  
E-mail: eigyo@banzai.co.jp

関東支店  
埼玉県北本市朝日4-553  
TEL 048-590-3700  
E-mail: kanto\_br@banzai.co.jp

大阪支店  
大阪市長田東3-3-11  
TEL 06-6744-1041  
E-mail: osaka\_br@banzai.co.jp

海外販売部  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6894

●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡・郡山  
山形・新潟・長野・前橋・宇都宮  
水戸・埼玉・千葉・横浜・静岡・多摩  
北陸・三重・京都・神戸・高松

●出張所 帯広・函館・富山・松山  
岡山・山口・長崎・大分・熊本

●販売会社 バンザイ南九州販売(株)  
バンザイ沖縄販売(株)

札幌支店  
札幌市西区24軒1条7-3-10  
TEL 011-621-4171  
E-mail: sapporo\_br@banzai.co.jp

東京支店  
東京都港区芝2-31-16  
TEL 03-3769-6840  
E-mail: tokyo\_br@banzai.co.jp

広島支店  
広島市西区南観音2-7-10  
TEL 082-233-3201  
E-mail: hiroshima\_br@banzai.co.jp

仙台支店  
仙台市宮城野区福室2-8-21  
TEL 022-258-0221  
E-mail: sendai\_br@banzai.co.jp

名古屋支店  
名古屋市千種区青柳町6-26  
TEL 052-732-2600  
E-mail: nagoya\_br@banzai.co.jp

福岡支店  
福岡市博多区那珂5-3-15  
TEL 092-411-1261  
E-mail: fukuoka\_br@banzai.co.jp



ISO9001・ISO14001  
自動車整備用機器・検査用機器の設計・開発・販売及びサービス  
バンザイでは「顧客第一主義」を信条に  
お客様とのきずなを大切に、  
お客様満足度の向上を図ってまいります。

# BANZAI NEWS

2015  
Winter  
293

特集  
BANZAI NEWS

## 新たな価値創造

～今こそイノベーション！ 更なる飛躍を目指して～  
世界へ発信する日本ブランドの技術力、  
サービスもイノベーションで新たな価値作りへ！





摩周湖 北海道川上郡弟子屈町

火山の噴火口に出来たカルデラ湖として、日本の湖の中で最も高い透明度を誇る摩周湖。厳しい冬の寒気に木々は凍てつき、湖畔にそびえるカムイヌプリは雪に覆われて、澄みわたる青空のもと、湖は神秘的な深い藍色の水を湛えて静まっています。

### ★歳時記

- 1月 1日 元旦
- 7日 七草
- 12日 成人の日
- 2月 3日 節分
- 4日 立春
- 11日 建国記念の日
- 3月 3日 ひな祭り
- 18日 彼岸入り
- 21日 春分の日



### ●目次

- ★新年のごあいさつ..... ①
- ★特集 新たな価値創造..... ②  
～今こそイノベーション! 更なる飛躍を目指して～  
世界へ発信する日本ブランドの技術力、  
サービスもイノベーションで新たな価値作りへ!
- ★モデルショップ訪問【株式会社千葉マツダ】..... ⑥  
最新機器とライン化の導入で、  
スムーズな工程管理と環境を実現。
- ★モデルショップ訪問【奈良日野自動車株式会社】..... ⑧  
メカニックの「笑顔」がCSへの原動力、  
大型車サービスに新時代の環境を創造!
- ★ショールーム..... ⑩
- ★TOPICS<ブース安全点検のご案内>..... ⑫
- ★2014BANZAIフォーラム..... ⑭
- ★ロータリー..... ⑯
- ★BANZAIガイド..... ⑰

## あけましておめでとうございます

皆様には2015年の新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素より格別のお引立てを賜り、誠に有難うございます。

さて昨年の我が国の経済はデフレ脱却を目指す円安株高の政策のなかで、消費税8%への増税の影響もあり、景気浮揚の流れもいったん足踏みをした感がありました。本年2015年は日本経済全体が、さらに力強い景気回復への流れを取り戻すよう期待したいと存じます。

自動車業界をみますと、昨年末には世界初の量産型FCV、燃料電池車が発売されたということでも画期的な年となりました。かつて究極のエコカーとして研究されてきたFCVがいよいよ一般のカーオーナーが入手できるマイカーとして登場したことになります。すでにハイブリッド車の販売台数は乗用車の40%を占めるに至っており、EV、PHEVなど各種のクリーンエネルギー車が市場に投入されております。また衝突被害軽減ブレーキシステムなど、各種の先進技術が急ピッチで実用化され、各メーカーにおいては自動運転システムもすでに実用化に向けて実験が進められております。

このように各種の先進技術が搭載された自動車に対して、アフターマーケットにおける対応も、より高度に進化していくことが求められております。最新の車両に対して、的確なサービスを行う上で、高度な診断機器、診断技術と提案技術が不可欠となっております。

弊社はこのようなトレンドをふまえて、本年、2015年のテーマといたしまして、昨年の「原点回帰」からさらに「新たな価値創造」をテーマに各種のご提案を発信してまいります。モノ、仕組み、組織というこれまでの経営資源のイノベーションによって、従業員、お客様、企業三者の満足をさらに高めようという取り組みへのご提案でございます。また弊社内におきましてもさまざまな視点からイノベーションを推進してまいります。

本年、弊社は創業95周年を迎えます。長年にわたる皆様からのご愛顧に感謝いたしますとともに、皆様へのより良いご提案活動や各種トレーニング、セミナー、またアフターサービスなどのトータルサポート施策として還元いたしますよう努めてまいります。また本年開催が予定されておりますオートサービスショーを初めとして、各種ご提案を発信してまいります。

皆様にとりまして2015年が新たな発展と飛躍の年となりますよう、弊社も微力ながらお手伝いをさせていただきます。本年も倍旧のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、末筆ではございますが皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



株式会社 バンザイ  
代表取締役社長 藤下 努

## 新たな価値創造

～今こそイノベーション！ 更なる飛躍を目指して～

世界へ発信する日本ブランドの技術力、  
サービスもイノベーションで新たな価値作りへ！



何かと気象災害などの話題ばかりが目立った昨年、明るい話題といえませんが、青色LED（発光ダイオード）で日本人物理学者3氏が受賞したノーベル物理学賞でしょう。年末、年始の街々を彩るイルミネーションも、家庭の照明も、まさに光のイノベーション（革新）といわれるLEDの発明なくしてはあり得ませんでした。私たちの身近な分野での受賞だけに、我が国の科学技術の真価を世界にアピールするトピックですね。

### 地球温暖化対策にも貢献する発明

さて2015年のスタートを切るにあたり、もう少し昨年を振り返ってみましょう。

冒頭にあげたLEDそのものが発明されたのは1962年のことだそうです。最初に発明されたのは赤色だけ。その後黄色、緑色が開発され、各種エレクトロニクス製品を中心に実用化されていました。ところが青色だけはその後の研究に困難を極め、なんと30年もの年月を要しました。世界中の科学者が研究に取り組んで、なおそれだけの年月を要したということからも、「青色」のハードルの高さがうかがえます。

「青色」の発明は、単に光の三原色によるフルカラーLEDを実現したというだけではありません。私たちの暮らしに必要な白色・高効率LEDの実用化につながったということがノーベル賞受賞の大きな要因だったということです。すなわち「青色」が白色の省エネ型LEDの実用化につながり、それは「地球温暖化対策に貢献し、全人類の生活水準を高めた」こと、「エネルギー問題解決への貢献」として評価されたということです。LEDが低価格で普及することにより開発途上国などエネルギー問題を抱える地域にも照明をゆきわたらせることができる、それほど偉大な発明だということですね。

その発光効率の良さ、すなわち省エネ・長寿命という特性から、LEDはすでに屋外や街路の照明、信号機などのインフラはもちろん自動車のヘッドライトにも実用化され、家庭やオフィス、さらには工場の照明にも導入が進められているのはご

存知のとおりです。あの東京スカイツリーのイルミネーションももちろんLEDです。電力コストが低いことはもちろん、独特の輝きの美しさと、高所での電球交換のリスクが少ないというメリットも大きいと言われます。

エジソンが白熱電球を発明したのが1879年とされていますが、これは人類が火を手に入れて以来の「炎」に代わる照明として、まさに革命ともいべき発明であったわけですね。その後蛍光灯の時代を経て、LEDはエジソン以来136年もの電灯の歴史を変えたといっても過言ではありません。まさに人類が手に入れた「光」そのものを変革する大きなイノベーションであったといえます。その発明が世界に先駆けて我が国の科学者によってなされたということは、とりもなおさずジャパンブランドの科学技術の基盤の厚さを証明したということでも大きな意味を持っていると言えるでしょう。

### 実用化へ加速する、最先端技術

さて、年末恒例の大手広告代理店による「消費者が選ぶ2014年の話題商品」を見ると、意外といつか残念なことにベスト10の中に車関連の話題は入っていません。13位にしろうじて「ハイブリッドカー」がランクされていますが、一昨年には2位に

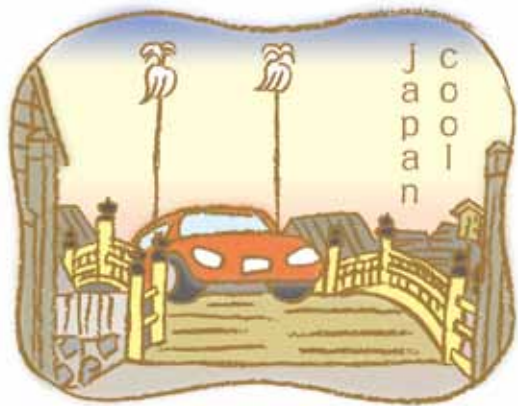


ランクされていたほど注目度が高かったことを考えると、これはいささか意外な結果と思われるかもしれません。

なぜでしょうか？ すなわち、これは話題性ということであって、すでにハイブリッドカーが特別なものではなくなった、ということの意味しているのでしょうか。実際に乗用車の販売車種の上位にはハイブリッドカーが目白押し、昨年上半期のハイブリッドカーの販売比率は40%ラインを超え、上位メーカー2社ではほぼ50%にも達しているというほどです。

実際、同レポートの中で「2015年の有望商品」ランキングのその第一位には「電気自動車(燃料電池車を含む)」があげられており、消費者の期待がHVからさらに次世代のEV、FCVに向けられていることが分ります。

昨年末、量産車として世界初のFCVが登場したことは、画期的な出来事でした。水素と空気中の酸素から電気を作り出してモーターに供給するという、原理そのものは単純ですが、究極のエコカーとして各メーカーが開発にしのぎを削り、開発から実用化まで多年を要したことからその



技術の高度さがうかがえます。当初の価格は700万円ほどといわれ、普及にはまだ数年を要するものと思われていますが、ハイブリッド車が普及に至るまでを思い起こせば、市場への浸透も意外に早いかもしれません。初のハイブリッド量産車の登場から10数年を経て、現在すでに当然の選択肢として消費者に選択されていることを考えれば、10年先、いや5年先にはFCVが街中を当たり前のように走っているかもしれないのです。

本特集シリーズにおいてもたびたび触れていますが、こうしたHV、EVを初めとするサービス技術への対応が不可欠であることはもはや明白です。いわばサービスの分野においても大きなイノベーションが求められているのです。

### 世界が評価する「日本ブランド」

昨年また「日本」ブームが話題となった年でもありました。わが国を訪れる外国人観光客の数は2011年の東日本大震災でいったん落ち込んだものの、その後は徐々に回復、2013年に初めて1,000万人の大台を超え、昨年は円安効果も手伝って大幅に増加、一昨年をはるかに上回る1,300万人ほどに上り、もちろん過去最高を記録したとみられています。

観光地ならずとも、最近、外国人観光客をよく見かけるな、と感じておられる方も多いことでしょう。東南アジア諸国へのビザ発給の緩和など、政府の推進する「観光立国」を目指す取り組みに加えて、富士山の世界遺産登録などの話題性や、アベノミクスによる円安効果、LCC(格安航空)便の増加などが後押しとなっているようです。そうい

ば、「和食」も世界無形遺産として登録されました。観光ばかりでなく、「マンガ」や「クールジャパン」など、日本の文化に対する関心は世界的に高まっているようで、このような追い風を受けて、政府、観光庁では東京五輪が開催される2020年には2,000万人、2030年には3,000万人の外国人観光客を迎えたいとして目標を掲げています。

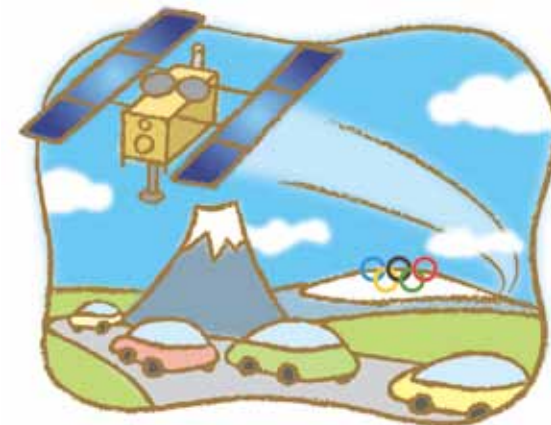
わが国が外国人観光客の誘致に力を入れているのは、それが観光関連業種やレストランなどの外食産業だけでなく、経済全体への波及効果が大きいからです。現在はとくにネットの情報が日本ファンを増やしているということで、これが日本の「ブランド力」を高め、日本企業への投資にもつながり、さらにはビジネスチャンスの増加や地方経済の活性化にもつながると期待されています。外国人旅行客の評価する日本の魅力は観光地の社寺などの観光資源はもちろんですが、その基本認識には「清潔、安心」であることや、「親切」であることなどが大きな要因となっているそうです。接客のポイントとしてたびたび取り上げられている「おもてなし」も日本の美点といえるでしょう。

こうした我が国の文化、風土は日本人の感覚からすると「当たり前」のことと思われがちですが、世界的にみれば日本の大きな特質だと見られているのです。こうした海外からの日本への評価が、日本人自身の日本文化への再評価につながっているのではないのでしょうか、昨今「和食」や「日本酒」の人気の高まっているというのもこうした流れを反映しているようです。

### 2015年、イノベーションへ向けて、スタート!

もう一つ、我が国の科学技術を世界にアピールする出来事だったのは、昨年末の小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げです。初代「はやぶさ」の劇的な帰還から4年、再び50億キロという壮大な宇宙へ旅立った「はやぶさ2」の帰還はさらに6年後の2020年、東京オリンピック開催の年だそうです。もはや間近に迫った2020年、少子高齢化、人口減少などさまざまな課題に、日本は解決の糸口を見出しているのでしょうか。明るい飛躍への途上を歩んでいる日本社会の未来像に期待したいものです。

さて、たびたび「イノベーション」の話題をご紹介してきましたが、昨年のご提案「原点回帰」に続く、本年のご提案は「新たな価値創造 ～今こそイノベーション！ 更なる飛躍を目指して～」です。このご提案における「イノベーション」は単に「技術革新」という意味合いだけではありません。「モノ、仕組み、組織」を見直し、さらに変化させて「新しい価値」を創造しよう、ということです。その最初のステップは現状を見直してリセットすることから、まずは2015年の取り組みをスタートしましょう。



# 最新機器とライン化の導入で、 スムーズな工程管理と環境を実現。

(株)千葉マツダではこのたび、千葉市美浜区に車体整備のセンター工場を開設。各作業工程でスムーズなオペレーションを実現するB&Pラインシステムを導入するとともに、明るく清潔な作業環境で県内28店舗のニーズに対応するサービス態勢を実現しました。



オートボディアートファクトリーの外観。工場床面積は約400坪。

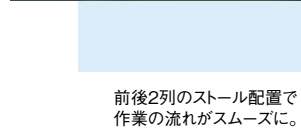


マネージャー 課長  
吉田 茂氏



全12ストールの板金ストール。  
明るく作業環境も抜群。

半透明のシャッターで  
明るい作業環境に。



前後2列のストール配置で  
作業の流れがスムーズに。

## 最新設備で効率・環境がハイレベルに融合

同社では従来、新港店と長沼店の2拠点に車体整備のセンター工場を稼働していましたが、今回、新港店の敷地に新たなセンター工場として「オートボディアートファクトリー」を開設しました。

「従来の工場はレイアウト面の制約から、入出庫や作業の流れがスムーズではありませんでした」と同ファクトリーのマネージャー・課長の吉田茂氏。そのため新工場の計画にあたっては全拠点のニーズに対応できる規模と、各作業工程をスムーズに進める効率的なレイアウト、さらに高品質サービスにもつながる環境面を重視した設計となっています。



ベンチ式修正機が3基、  
最大5.5mの大型ボディにも対応。



車両のセッティングから  
修正作業まで、効率的に行える。

ドライブオンプレートで  
乗込みも容易。



軽補修から大破車両まで対応。

## どのストールでも修正、板金作業が可能に

新港店の一角に建設された同ファクトリーは、前面にすべて半透明のオーバースライダーのシャッターを採用、入庫を容易にすると同時に明るい採光を確保しています。板金ストールは12ストール、ベンチ式修正機が3基、NEXTフロア式修正機が6基、イーグルNXリフト2基が導入されています。

ほぼ全てのストールで車体修正が可能となっているため、「作業の部位、難度に関わらず、空いているストールにすぐ入庫でき、工程管理も容易になりました」とのことです。また全ての板金ストールに吊下げ式カーボンヒーターを設備して作業効率を大幅に改善するとともに、床下集塵装置により粉塵の飛散もなく大幅な作業環境の改善を実現されています。

塗装ブースは3基を設備。各ブース間はレールとスライドパレットによるB&Pラインシステムを導入し、マスキング作業から塗装まで、スムーズかつフレキシブルな作業の流れを実現しています。



NEXTフロア式修正システム

すべての板金ストールに移動式  
吊下げ式カーボンヒーターを設備。



作業場所に応じて開閉できる集塵ビットを設備。



調色室にはスプレーキャビンを2台設備。



3基のブースをラインシステムで  
結ぶレイアウト。



左右からブースへの移動が可能。



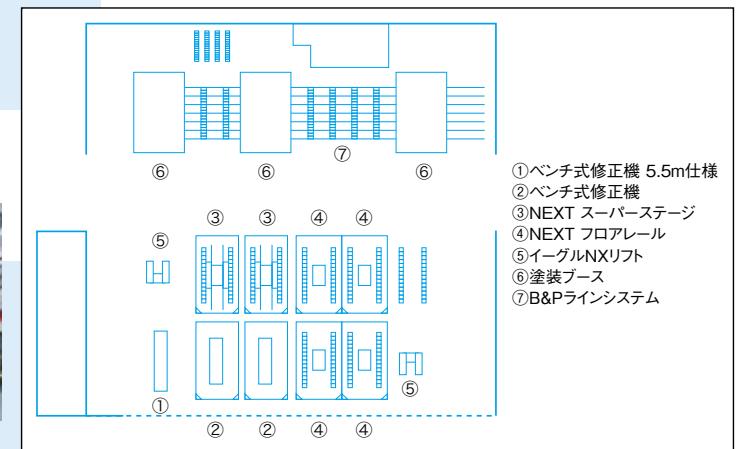
スタッフ全員が顧客満足のサポーター。

## スタッフ全員で業務改善への取り組みを推進

同ファクトリーの完成にともなって、作業の流れを見直し、分解・組付け、板金、塗装の各工程を班別に専門化し、工程間の連携を緊密にすると同時に、作業の高品質化を追求されています。

「入庫から完成まで、工場内の同一フロアで行えるようになったことも、工程管理に役立っています」とのことです。作業ストールごとに進行の状況がひと目で分かるため、各班のスタッフを中心になってオペレーションを行うことで、スムーズな作業の流れが実現しています。

また同ファクトリーでは納車時のアンケート調査をもとに、各拠点からの評価を作業改善に役立てる取り組みを実施。スタッフ全員が主体的に作業効率、品質向上への活動を推進されています。



# メカニックの「笑顔」がCSへの原動力、大型車サービスに新時代の環境を創造!

奈良日野自動車(株)ではこのたび本社、サービス工場を移転、新築し、一般整備から、点検、車検、車体整備まで大型車のあらゆるサービスに対応する新工場を完成。各種省力化・効率化機器の導入とともに、大型車サービス工場としてトップレベルの作業環境を実現しています。



鮮やかな真紅のコーポレートカラーをデザインした外観。



本社右手がサービス工場。大型車のアクセスも便利に。

## 新時代を見据えたサービス環境に

新工場は奈良盆地のほぼ中央、磯城郡川西町に立地し、約4,900坪という広大な敷地にサービス工場および車体整備工場の2棟が建設されています。今回の新工場計画にあたっては同社の松末佳明社長の「メカニックが笑顔で作業できる工場に」というコンセプトのもと、「これからの40年、50年先にも対応できる設備、環境を目指しました」と、サービス部整備チーム工場長の小西光徳氏。作業効率はもちろんサービスの安全面にも最大限に配慮した設備、環境を実現されています。

また新工場は大阪市内と結ぶ西名阪道の大和まほろばICからも近く、県内全域からのアクセスも良好とあって、お客様への利便性も向上したとのこと。



サービス部 整備チーム 工場長 小西 光徳 氏



サービス部 技術チーム 課長 保井 明氏



工場西側の6ストール、手前が車検整備、奥側が一般整備。

キャタピラツインIIで大型バスもらくらリフトアップ。



天井走行クレーンも東西に各1基、すべてのストールをカバー。

検査ラインは通り抜けが可能で、ロングボディ車にも対応。



## あらゆる車種、サービスへの対応を実現

白地に赤のコーポレートカラーをパラペット部分にデザインした新工場は、一般、車検整備に12ストールと検査ラインを併設、各種の車両に対応して省力化を実現する2柱、4柱の各種仕様のツインエースを7基、またクイックサービスから重整備まで対応できるフロアリフト3基を導入。またBP工場棟には車体修正機、塗装ブース、下部塗装場および洗車場を併設するなど、幅広いサービスへの対応が可能となっています。トラック、バスともに大型化し、最新技術の導入が進み、また顧客のニーズも多様化する中で、これら最新設備により高品質なサービスを、迅速かつ的確に実施できる体制を実現しています。

工場西側の3ストールにフロアリフトを導入。



フロアリフトは3分割式で、あらゆるサービスに対応。



バス整備に最適な広い後部エリア。



フロアリフトにはピットリフトを装備、重整備にも対応。



工場東側にある車体整備工場。右端が塗装ブース。



ヨサム大型車修正用レールとキャブ修正タワーを導入。



工場東側の6ストール。右端は検査ライン。



手前側が一般整備、奥側が車検整備ストール。床面は「やる気の出る色」明るいブルー。



車検整備ストールには4柱、2柱のキャタピラツインエースを設備。

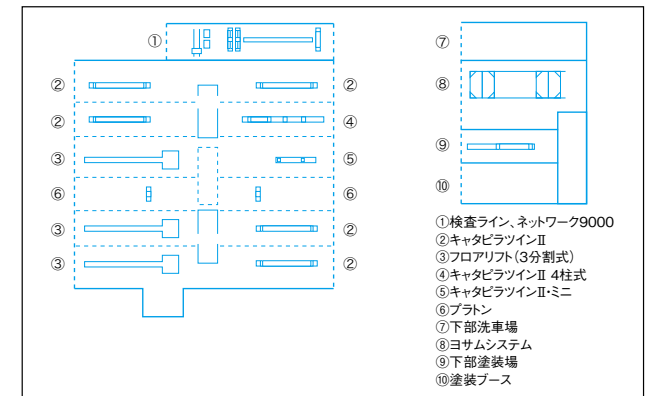


スタッフ全員で信頼のサービスを実践。

## 品質を支える、メカニックの意欲向上にも

「我々にとって品質がサービスそのもの。高品質なサービスはメカニックの明るい笑顔なくして提供できません」と小西工場長。最新設備もそれを効果的に活用するのはメカニックであり、その意欲を支えるのは安全、快適に作業できる職場環境だということです。

新しいサービス空間の完成を、「まさにタイムスリップ感覚」と表現されているのは、新工場の運用面を担うサービス部技術チーム課長の保井明氏です。新工場への期待も大きいだけに、「お客様の満足と信頼につながる確実なサービス、会社の収益につながるサービス」の実践に、スタッフ一人ひとりが大きな使命感を持って取り組まれています。



- ①検査ライン、ネットワーク9000
- ②キャタピラツインII
- ③フロアリフト(3分割式)
- ④キャタピラツインII 4柱式
- ⑤キャタピラツインII ミニ
- ⑥プラトン
- ⑦下部洗車場
- ⑧ヨサムシステム
- ⑨下部塗装場
- ⑩塗装ブース

# SHOW ROOM

## ホイールバランサー セカンドインパクト WBSI-616E

- ホイールガードを標準装備。
- ホイールの美観を損なわずにアンバランス修正が行なえるスポークモード搭載。
- ホイールデータを手動で入力する最もシンプルなタイプのホイールバランサーです。
- ホイールデータ入力にゲージを使用しない為、ゲージ校正の必要がありません。
- タイヤ・ホイールのマッチングによる、より高度なアンバランス修正が行なえる  
最適化モード搭載。

型 式	WBSI-616E
対 象 車 種 ※1	・軽～普通自動車 ・軽～中型貨物車(要別売リアアダプター)※2 ・自動二輪車(要別売リアアダプター)※2
デ ィ ス タ ンス 値	1～360mm
手 動 入 力 ゲージアム 表 示	1～360mm
適 用 リ ム 幅	1.5～20インチ
適 用 リ ム 径	1～35インチ
適 用 ホ イ ール 重 量	MAX.75kg
適 用 ホ イ ール 幅	MAX.600mm
適 用 ホ イ ール 外 径	MAX.863mm
メ イン シ ャ フ ト 径	40mm
測 定 時 間	約7秒
表 示 単 位	1g/5g
表 示 方 式	LED
ホ イ ール データ 入 力 方 式	手動入力
電 源	AC200V 単相 50/60Hz
本 体 最 大 寸 法	W1,293×D1,086×H1,645 mm
本 体 重 量	79kg



**別売オプション**  
 ●ライトトラック用コーナースペーサー ●アルミ用クランピングヘッド  
 ●ユニバーサルフランジアダプター ●2輪車用アダプター

※1 リムの形状によっては、適用仕様内でも別途アダプターが必要になる場合があります。  
 またリムの形状によっては測定できない場合があります。  
 ※2 WBSI-616Eの別売リアアダプターはWBSI-616E専用ですので、他の機種では使用できません。  
 ※3 SS仕様には対応していません。

## 画像式ヘッドライトテスター HT-522シリーズ、HT-528シリーズ

### 欧州車など、測定 of 困難な 最新ヘッドライトへの対応力を向上!

- メルセデスベンツ、アウディなどLEDヘッドライト搭載車への対応力を向上しました。
- 既設のHT-522、HT528の改造も可能です。
  - ・HT-522 フォトセンサー取付追加、CCDカメラ交換、プログラム書き換え
  - ・HT-528 CCDカメラ交換、プログラム書き換え

型 式	HT-522シリーズ、HT-528シリーズ	
型式試験番号	JASEA-H-29	
測 定 距 離	1m	
指 示 範 囲	光 度	走行 0～120,000cd 上15(すれ違い上10)
	照 射 方 向 cm/10m	左30 — 右30 下35
	ライト取付高さ	25～120cm



# SHOW ROOM

## 遠赤外線電気ヒーター ホカッテ WPS30A/30AS

### 遠赤外線で身体の芯から暖かい、 クリーンで快適なスポット暖房。

- 空調の効きにくい工場、オフィスに最適、コンパクトなスポット暖房器です。
- 表面温度は放射効率の良い300℃です。火災の危険性も少なくなっています。
- ガード温度の低温化(50～90℃)も図っています。

型 式	電 源	消費電力	本体寸法	質 量
WPS30A	200V 三相	1.5～3.0kw	W650×D550 ×H1,110 mm	25.6kg
WPS30AS	200V 単相			



## CTEKバッテリーチャージャー MXS0.8JP/5.0JP

### マイコン制御で電圧・電流をコントロール。 高性能・高機能充電器CTEKがモデルチェンジ!

- 車載のまま充電できる高性能バッテリーチャージャーです。
- 維持機能付きで、満充電を維持し劣化を抑え、寿命を伸ばします。

型 式	定格出力電流	充電ステップ	充電モード
MXS0.8JP	0.8A	6ステップ	—
MXS5.0JP	4.3A/0.8A	8ステップ	バイク、車、寒冷地、 リコンディション



## ゴージャッキ(2ヶ組) 4520-R 5211-R 6313-R/L

### ジャッキアップと移動が簡単に行える、 シンプルな車体移動ユニット。

- 動力、エアが不要。二重ラチェットで持ち上げ・下降が簡単。
- 接触部分はタイヤだけ、車体を傷つける心配がありません。
- 踏みやすいようペダルが逆のLタイプが追加になりました。(6313-L)

型 式	能力(1台あたり)	適用タイヤ幅	適用タイヤ外形	質量(1台あたり)
4520-R	510kg	約508mm	約460～約910mm	約17.0kg
5211-R	588kg	約279mm	約460～約860mm	約15.7kg
6313-R/L	714kg	約330mm	約460～約910mm	約17.0kg



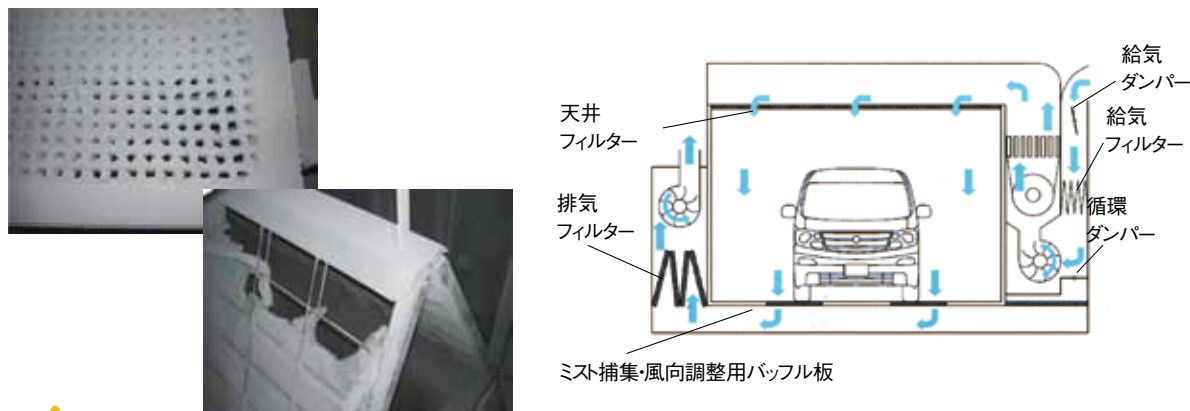


# 作業者の健康を守る、環境づくりのために…

## 「定期自主検査」「作業環境測定」は、法律で義務付けられています！

※「定期自主検査」「作業環境測定」を行う際、合わせて「清掃」をお勧めします。

平成20年3月より、「局所排気装置の定期自主検査指針」が変更になりました。専門の技術と測定器を必用とする点検項目が追加され、お客様自身による定期自主検査が難しくなりました。



### 定期自主検査 (有機溶剤中毒予防規則 第4章)

事業者は、局所排気装置については、**一年以内ごとに一回、定期自主検査**を行わなければならない。

※検査記録は3年間保管すること。

罰則:労働安全衛生法 第12章 第120条「50万円以下の罰金」

### 作業環境測定 (労働安全衛生法 第7章 第65条)

事業者は、有害な業務を行う作業場で、**六ヶ月に一回 作業環境測定**を行い、その結果を記録しておかなければならない。

※検査記録は3年間保管すること。

※作業環境測定士が6ヶ月に1回(年2回)行い、結果を評価する必要があります。

罰則:労働安全衛生法 第12章 第119条「6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金」

## 「塗装ブース」を安全にお使いいただくために…

塗装ブース内や排気ダクト等に塗料などが付着することで「**自然発火**」の恐れがあります。防止策は「**塗料ミストの除去**」=「**清掃**」です。

### 定期清掃 / フィルター交換

塗装ブースの**安全性・性能を維持するために定期的なメンテナンス**が必要になります。怠ると、**火災の恐れ**や**塗装品質の低下**などにつながります。※定期的に塗装ミストの清掃を行うことを推奨します。

**塗料の自然発火にご注意ください。**

塗料が付着した可燃物(ウエス、ダンボールなど)や塗料カス、スプレーダストなどは自然発火の恐れがあります。速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理してください。

※主に「フタル酸系樹脂塗料」「アルキド系樹脂塗料」「調合ペイント」と称される塗料など。



塗装ブースの清掃・点検はお近くのバンザイまでご連絡ください。





来て見て 納得!

全国8会場で新商品をプレゼンテーション。

ご来場  
ありがとうございます  
ございました!

# BANZAI FORUM

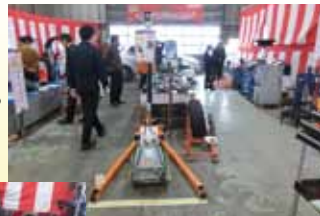
— 明日へのビジョン — バンザイフォーラム



2014年7月から10月まで、バンザイでは自動車サービスの高効率化、高品質化、環境整備を実現する各種機器の展示、実演ならびに各種セミナーの開催などを中心とした「バンザイ フォーラム」を全国の会場にて開催いたしました。お陰様で各会場とも多数のご来場を頂き、盛況のうちに閉幕いたしました。まことに有難うございました。誌上ではございますが、厚く御礼申し上げますとともに、各地の会場から、主な展示商品と会場の様子をスナップでご紹介します。

## 札幌会場

HV、EVサービス対応にも各種機器を提案



オートセンタリング機能で測定精度向上、タイヤリファターのデモンストレーション

洗車ビジネスなど多彩なセミナーを開催



## 関東会場

自動車の進化に対応する最新診断・整備機器をご提案



大型バスのATF交換がスピーディに行える、大型バス用ATFチェンジャー

検査ラインもLED照明で明るく



## 仙台会場

最新情報を分かりやすく解説、セミナーも盛況



車検機器から車体整備まで幅広い新商品を展示



リフトアップ、移動が容易なモバイルリフト、ベンチ式修正機も展示



エンジン診断に不可欠の各種スキャンツール

## 東京会場

安全性、作業性に優れたZフレックスリフト、イーグルNXリフト



回生システム診断にも対応、MAHAシャシーダイナモメーター



ジオライナーなど足回り診断機器も充実



バルancerも各種ラインナップ



## 名古屋会場

省力化機器や環境機器など、注目のお勧め商品を展示



多様化するヘッドライトへの対応も課題

省スペースのアライメントテスター「イーザー3D」



## 大阪会場

ディーゼルインジェクターの洗浄で、隠れたニーズをビジネスに



多彩な機器を展示、洗車・洗浄コーナー

エコ洗車と豊富なオプションのエミネントY



## 広島会場

タイヤチェンジャー、バルancerからアライメントまで、足回り機器にも高い関心



洗車からコーティングまでの美装ビジネスを提案

5つの機能で収益アップ! デジコミII



## 福岡会場

アイドリングストップ車にバッテリーサービスは不可欠



ロープロタイヤもらくらく、レバーレスタイヤチェンジャー TCSI-1100

各種セミナーにも高い関心が寄せられた



感動夢工場 第29回研究会を開催

らくらく車検工房、リペア工房、四輪工房、オイル工房の4工房で組織される感動夢工場では、昨年10月29日～30日の2日間、第29回研究会を青森県八戸市で開催しました。

今回は、同市内を中心に石油販売、新車・中古車販売、車検、板金塗装、各種保険業務をはじめLPガス、太陽光発電システムの販売まで幅広い事業を展開する会員企業の(株)七洋の見学およびケーススタディと、(株)プラクティカル・ビジネス・コーチング 代表取締役・田縁文男氏による講演を中心とする日程で、全国から会員を集めて熱心な研究活動が行われました。

1日目は会長の高間専逸氏による開会挨拶に続いて、講師の田縁氏により「のら猫コンサルタントが見た 自動車販売店のなぜ?」と題して講演が行われました。田縁講師は「事業収益倍増へのマッピング」をテーマに、CSとコンプライアンスを中心とする地域戦略、また女性と高齢者をターゲットとした顧客対応、さらに女性も含めた社員育成のあり方などについて論旨を展開されました。また経営トップとしてリーダーシップを発揮するうえで、「明解な目標」「社員との対話」「素早い実行」「真似をするのがうまい」などの特徴をあげ、具体的な事例をもとにリーダーのあり方を示唆されました。

2日目は(株)七洋のユーザー来店型板金塗装店「モドリー八戸沼館店」ならびにSSと車検整備の併設店舗「コバック八戸類家店」を見学。各業態の拠点が連携して顧客の来店誘致を促進し、車検、車体整備ともに抜群の入庫実績を上げている同社独特のビジネスモデルについて興味深く研究活動を行いました。



挨拶に立つ  
会長の高間専逸氏



講師の田縁文男氏



(株)七洋 取締役  
カーケア部長 嶋脇章朗氏



SSに隣接した  
コバック八戸類家店、  
車検後もきめ細かい  
固定化策を実施



クルマのことなら何でも、  
ワン・ストップ型のサービス展開



パネルの補修見本などで  
分かりやすく説明



同社のマーケティング戦略について紹介



朝礼も同社にとって重要な位置づけを持つ



モドリー八戸沼館店は  
100%直需、来店型の  
店舗コンセプト



ユーザーに分かりやすいメニュー、見本を掲示



高度な生産性と  
品質を確保

BANZAI GUIDE

バンザイタイランド 45周年記念式典を挙行



45周年を迎えたバンザイタイランド本社

タイ国におけるバンザイの販売会社(株)バンザイタイランド(BTL 代表取締役社長、中島剛)はお蔭さまで昨年、創立45周年を迎えました。これを記念して、さる12月16日、日頃お世話になっているお客様や仕入先の皆様をお招きし、バンコク市内のホテルにて記念式典を挙行いたしました。バンザイからは高野茂副社長、浅沼芳政専務、佐野正明参事が来賓として出席、同社社員一同とともに式典、祝宴のひとときを共にしました。



45周年記念のディスプレイの前に、左から高野副社長、  
BTL中島社長、BTLトサボン取締役、浅沼専務、佐野参事(海外販売部)



タイで共にBANZAIブランドを掲げるBTL社員一同



祝辞を述べる  
高野副社長



永年勤続表彰の社員とともに。  
中央左、中島社長、中央右、トサボン取締役



招待状とBANZAIスパナの記念品

編集後記



あけましておめでとうございます。  
今回、取材に同行しました奈良日野様本社工場は商談初期に携わらせて頂いた案件でもあり、私自身も思い入れのある工場でした。久しぶりにお会いする小西工場長も気さくにお話し頂き、また整備工場も奈良日野様のこだわりと効率を重視しながらも、

<根岸>

安全性をしっかりと考慮した内容となっております。わずかながら現場経験がある私には、綿密な打合せとその内容を具現化させるための苦心と努力をかいま見ることが出来ました。お客様にご満足いただける工場づくりに参画出来たことを光栄に感じ取材を終えることが出来ました。